



元気っ子

No.225 ながさわ保育園

平成 28 年 5 月号

園 長 市 川 温 予

日に日に新緑が美しい季節になってきました。

園庭の木々や茶畑の緑がとってもきれいでこういう環境の中で生活できる私達は幸せだなとつくづく思います。

4月14日の前震、16日の本震と2度の震度7を記録する大地震で大きな被害を出した熊本地震。ニュースや新聞をみるたび本当に心が痛みます。一日も早く、元の環境に戻れるように祈るばかりです。

さて、新年度がはじまり、はや一ヶ月が経ちました。お家の方と離れる時に不安で泣いていた子、靴をもって離さなかった子、保育士に抱っこやおんぶをしてもらっていた子も少しずつ自分で気持ちを切り替えて我慢をしたり、保育士がそばにいと安心して遊べるようになりました。また、友達の遊んでいる姿を見ていたり、会話を聞いていたり、周りの子の姿を見て、真似て、同じことをしたりと新入児も友達との関わりも出てきました。お天気の良い日には、散歩に出かけたり、園庭で遊んだり子ども達にとっては戸外が一番です。開放感もあるし、とにかく子ども一人ひとりが生き生きとしています。子どもはこのように個々に自分の落ち着く場所や好きな遊びを見つけ出していきます。先生達も一人ひとりの姿を大切に子ども達の思いを優しく受け止めるようにしています。子どもは自分の思いを受け止めてくれる人を好きになっていきます。私は、「人への信頼・心の安定・安心感」などが育ちの中で大事だと思っています。周囲の大人との安定したかわりが子どもの心を安定させます。微笑みや言葉がけ、肌と肌との触れ合いなどが、大人との情緒的結びつきを強くし、人との信頼関係を形成していきます。また、人との信頼感を育むことで、人や物への積極的なかわりをするようになっていきます。

これからさわやかな季節になります。

緑がいっぱいある環境の中（空間）

心地よい陽射し、風、ゆっくり流れる時間（時間）

そしてたくさんの友達、先生（仲間）がいてみんなで楽しく、元気に過ごしていきたいと思います。

ながさわ保育園の保育方針の一つです。

「三間（時間・空間・仲間）の大切さを常に頭に置いた保育の実践」です。子どもはいろんな年齢の子と遊んだり、関わったりしながら人間関係のトレーニングをしていきます。

「ゆっくり生きよう。ゆっくり育てよう。」です。